

令和4年度

チーム星峯西小学校で取り組む

教育の情報化

「確かな学力」を育む

これからの学習指導システムの構築

～アナログとデジタルの学習指導の融合を目指して～

これまでの実践の中間まとめ

令和4年6月23日(木)

鹿児島市立星峯西小学校

校長 谷口源太郎

「確かな学力」: 知育: 校訓かしこく

すべての教科領域で情報活用能力を基盤にして育成する

授業以外
(補充指導)

※全教科領域を研究対象にして全学年で実践する。手立ての有効性を検証し、体系的にまとめていく。

関連

授業改善

付け

家庭学習

※矢印部分も研究対象となる。授業づくりを中心として学年、発達段階、教科、領域、教材等で違いがあるのかを実践検証していく。

関連付け

関連付け

デジタル学習指導 (学習者用デジタル教科書、タブレット端末、デジタルドリル、AI教材、ロイロノート、テレビ会議システム等)

アナログ学習指導 (紙の教科書、ドリル、教科用ノート、家庭学習ノート等)

前年度の実践から

【授業編】

ロイロノートの活用

- ◆1月27日(木)6年社会科
- ◆2月 2日(木)6年国語科
- ◆2月18日(金)6年音楽科
- ◆3月11日(金)6年音楽科

授業の工夫・改善

6年1組 社会科「長く続いた戦争と人々の暮らし」

2022年01月27日

つかむ



見通す



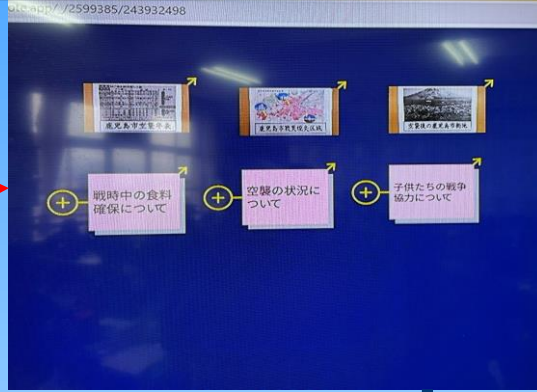
調べる・考える

児童用タブレット端末
へ配信されたデータ

A1: 教員による教材の提示



教師用タブレットから児童タブ
レットへ資料データをロイロで配信



B1: 個に応じる学習



◆つかむ→見通す→調べる で活用
教師用タブレット端末から児童用タブ
レットへロイロノートで資料データを送信。
めあて設定、調べる方法を見通して自
分で調べたことをまとめる部分で活用し
た。今後は、個別学習で調べたことをタ
ブレット内でまとめるか、ワークシートに
まとめるか、その後の学習記録、評価と
の兼ね合いで検討する。

鹿児島空襲実物資料



6年2組 国語科「筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう」

2022年02月03日

調べる・考える

深める

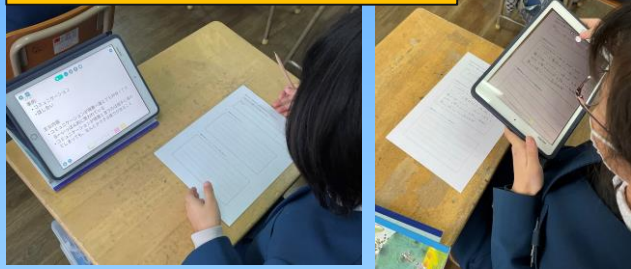
まとめる

児童用タブレット端末から教師用タブレットへ考えたことを写真で配信

データをグループ内で共有し、グループとしての考えをまとめて、ホワイトボードに書く。

各グループの考えを学級全体で共有し合い深める。

B1: 個に応じる学習



C2: 協働での意見整理

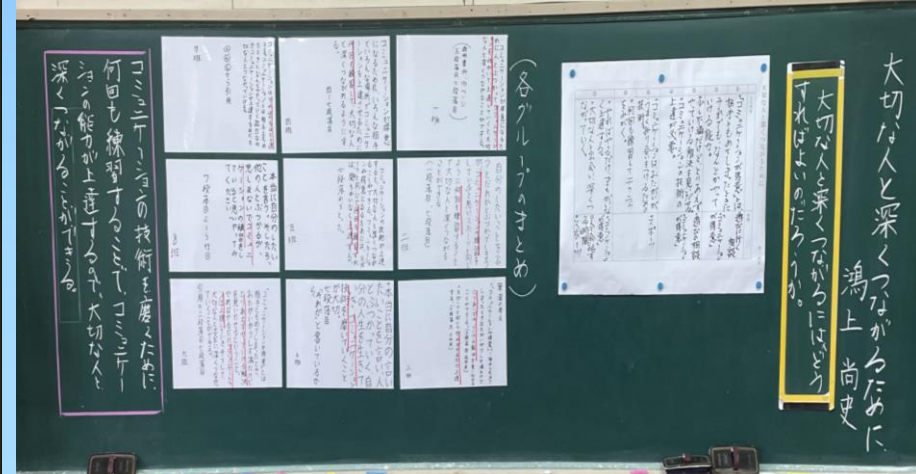


C1: 発表や話し合い



◆調べる→深める→まとめる で活用

子ども一人一人の考えをワークシートに書き、書いたものをカメラで撮って教師用タブレットに送信。グループ内の考えを出し合ってグループの考えとしてホワイトボードに書いてまとめる。まとめたことを学級全体で発表し合う手順で深めていくことができた。アナログ・デジタルともにデータの記録・保存ができる。

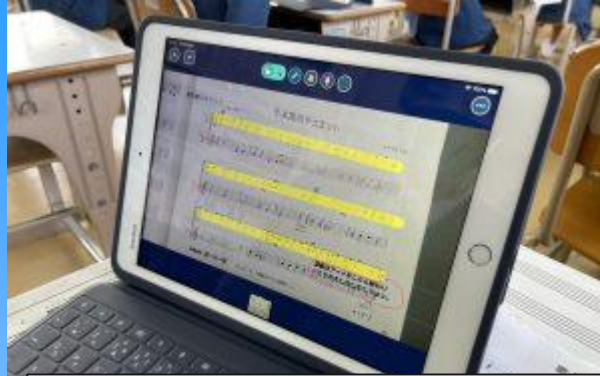


コロナ禍における歌唱、リコーダー等の対応を工夫した音楽科授業

2022年02月18日



授業時間に教師は児童用タブレットに楽譜等データ(演奏のポイント付)を送信して課題を与える。



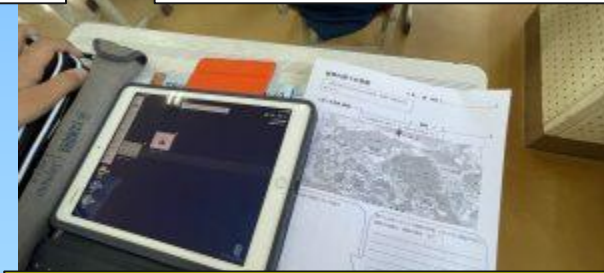
児童は、自宅で歌やリコーダーの練習をして、その演奏を録画して教師用のタブレット端末に演奏データを送信する。



教師は子どもたちから送られてきた演奏データを聞いて評価する。



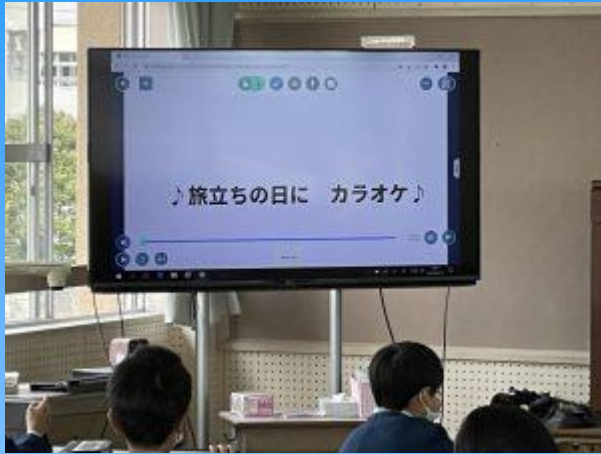
子どもたちが自宅でリコーダーや歌の練習をして、演奏したものをタブレット端末の内蔵カメラで録画して、そのデータを先生のタブレット端末に送信するという取組です。



授業ではタブレット端末を使って世界の国々の音楽について調べる活動をしています。

タブレット端末を自宅に持ち帰っての歌唱練習 のための事前指導

2022年03月12日



3月11日(金)音楽室では6年2組がタブレット端末の録音操作を確認しています。卒業式の最後に歌う予定の「旅立ちの日に」のピアノ伴奏カラオケに合わせて自分の歌声を録音するための操作方法を確認しています。

自宅で練習し、録画したリコーダーの演奏を先生のタブレット端末に返信された動画(3月)



授業時間に教師は児童用タブレットに楽譜等データ(演奏のポイント付)を送信して課題を与える。



児童は、自宅で歌やリコーダーの練習をして、その演奏を録画して教師用のタブレット端末に演奏データを送信する。



教師は子どもたちから送られてきた演奏データを聞いて評価する。

自宅で録画した映像を送ると先生が評価してくれる

タブレット端末のカメラ機能を生かした動画撮影 3年(音楽:運指映像)

実践のまとめ

令和4年5月2日

【単元名】ドレミで歌おう

第3学年 音楽

①先ずは実際に鍵盤ハーモニカで運指の確認。



音の高さを確かめながら、『指くぐり』『指またぎ』に気をつけながら鍵盤ハーモニカを演奏。コロナ禍で演奏活動が出来ないため、暗唱唱⇒鍵盤ハーモニカで音を出さずに運指の確認⇒タブレットの『GarageBand』を使って実際に運指に気をつけながら音を出して確認をする。⇒演奏したものを録音し、データをロイロノートで提出してもらう。

◎手立てに対する成果等

コロナ禍の中でも実際に音を確認しながら演奏をすることが出来た。録音し、データを送ってもらうことで1人1人の演奏を教師が確認することが出来る。

また、子ども同士撮影をすることで自分自身の演奏を確認したり、アドバイスを合ったりする様子が見られた。

②実際にタブレットで音を確認して演奏。



③指くぐり・指またぎに気をつけながら演奏する。⇒ 録音する ⇒ ロイロノートで送る。

鍵盤ハーモニカの運指の様子をカメラで撮影して保存する、動画に残すことで学習内容の最も深めるべきことを繰り返し再生して確認したり、一時停止して確認しながら議論したりできる。

= 学び合いの素材として活用できるメリットがあります。

今年度の実践から

【授業編】

ロイロノート及びteamsの活用

新型コロナ感染対応

「学びの保障」のためのハイブリッド型オンライン授業

◆4月18日(月)6の1算数、理科

◆5月17日(火)5の3音楽

6の2理科

ハイブリッド型オンライン授業の実践(6年1組)

2022年4月18日



◆テレビ会議システム(teams)を使って授業を流し撮りする方法
教師用タブレット端末と児童用タブレットとをteamsでつなぐ。

ハイブリッド型オンライン授業の実践(6年1組)

2022年4月18日



◆テレビ会議システム(teams)とロイロノートを使って授業を行う方法
教師用タブレット端末と児童用タブレットでデータのやり取り及び映像をつなぐ。

【ハイブリッド型オンライン授業】

5の3(音楽科授業)

2022年05月17日



【ハイブリッド型オンライン授業】

音楽専科担当が行うハイブリッド型オンラインの音楽科授業の様子(流し撮り方式)

【ハイブリッド型オンライン授業】

6の2(理科授業)

2022年05月17日



【ハイブリッド型オンライン授業】

理科専科担当が行うハイブリッド型オンラインの理科の実験の様子(流し撮り方式)

今年度の実践から

【授業編】

ロイロノート及びteamsの活用

新型コロナウイルス感染による学級閉鎖への対応

「学びの保障」のための完全オンライン授業

- ◆6月16日(木)6の1算数、理科
- ◆6月17日(金)6の1社会

【完全オンライン授業】

6の1(朝の会、健康観察)

2022年06月16日

【6月16日(木)】

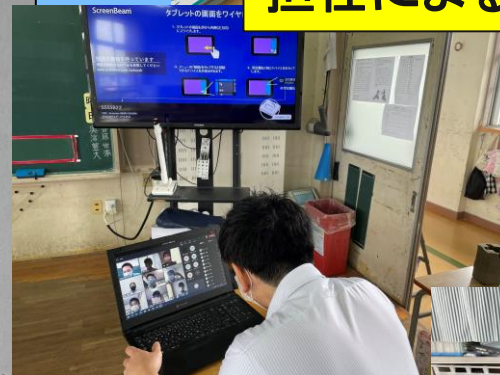
- 朝の活動 → 健康観察及び1日の流れの説明
- 1時間目 → 算数「分数÷分数」(6年1組教室)
- 2時間目 → 理科「植物のからだのはたらき」(理科室?)
- 3時間目 → 理科「植物のからだのはたらき」(理科室?)
- 4時間目 → 社会「縄文のむらから古墳のくにへ」(6年1組教室)
- 5時間目 → 学級活動「薬物乱用防止教室」(体育館)
- 6時間目 → 国語「私たちにできること」(6年1組教室)

【6月17日(金)】

- 朝の活動 → 健康観察及び1日の流れの説明
- 1時間目 → 算数「分数÷分数」(6年1組教室)
- 2時間目 → 社会「縄文のむらから古墳のくにへ」(6年1組教室)
- 3時間目 → 学校行事「地震避難訓練」(6年1組教室)
- ※避難の仕方をリモートで確認 → 算数タブレットドリル学習(在宅)
- 4時間目 → 国語「夏のさかり」(6年1組教室)
- 5時間目 → 図工「わたしのお気に入りの場所」(6年1組教室)
- 6時間目 → 図工「わたしのお気に入りの場所」(6年1組教室)



担任による健康観察



↑ICT担任による
接続関係のサポ
ート

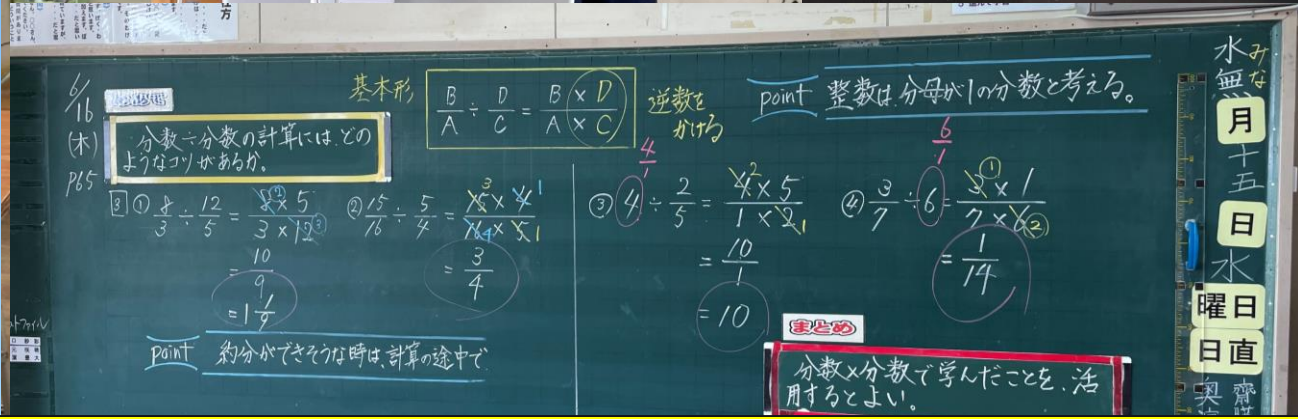
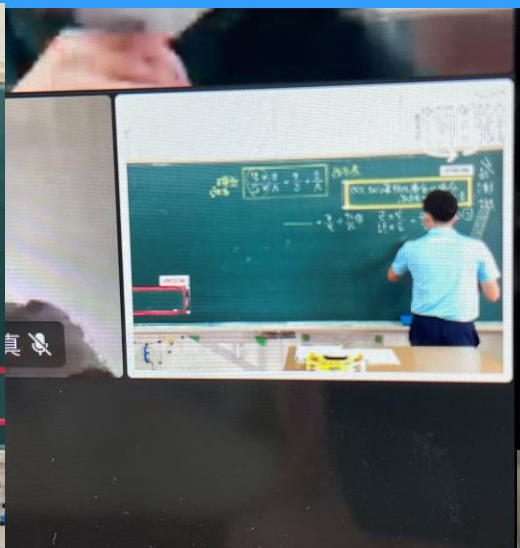
校長から子ども
たちへの声かけ
↓



【完全オンライン授業】

6の1(算数科授業)

2022年06月16日



◆テレビ会議システム(teams)を使って授業を流し撮りする方法
教師用タブレット端末と児童用タブレットとをteamsでつなぐ。
※黒板の板書はカメラに撮れる範囲に記入する。モニターに映し出して確認できるようにする。

【完全オンライン授業】

6の1(理科授業)

2022年06月16日

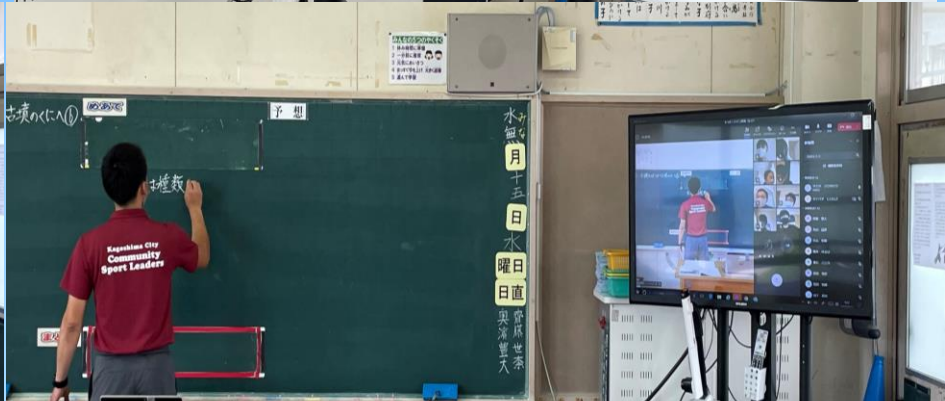
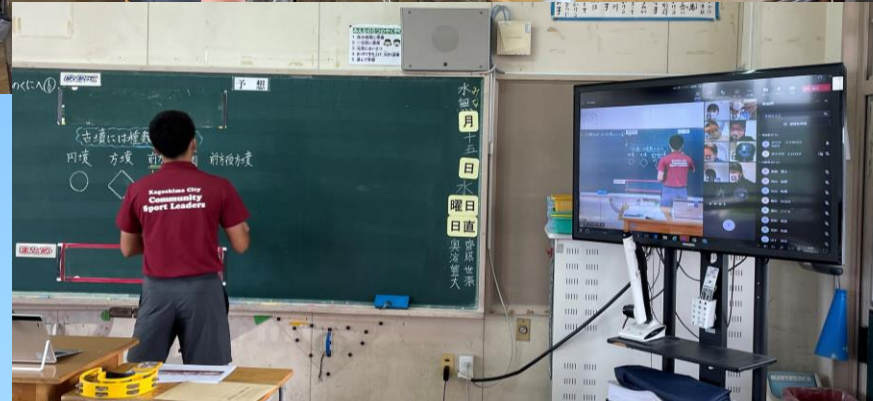


◆テレビ会議システム(teams)とロイノートを使って授業を行う方法
教師用タブレット端末と児童用タブレットでデータのやり取り及び映像をつなぐ。

【完全オンライン授業】

6の1(社会科授業)

2022年06月17日



◆テレビ会議システム(teams)を使って授業を流し撮りする方法
教師用タブレット端末と児童用タブレットとをteamsでつなぐ。
※講義形式になりやすいので適宜、子どもからの質問場面や発表場面をつくるようにする。

【ハイブリッド型オンライン講演会】 6年（薬物乱用防止教室） 2022年06月16日



◆テレビ会議システム(teams)を使って講演会を流し撮りする方法
教師用タブレット端末と児童用タブレットとをteamsでつなぐ。

今年度の実践から

【授業編】

**ロイロノート及び
デジタルドリルの活用**

**◆6月21日(火)3年算数科
(兼1年目初任研授業)**

【研究授業】3の2でタブレット端末を活用した初任研の算数科研究授業がありました 2022年06月21日



6月21日(火)1校時に3年2組(相原学級)で算数科の研究授業がありました。初任研の一環で行われた研究授業でしたが、本校の3年生において初めてタブレット端末(ロイロノート、デジタルドリル)を活用した算数科授業として意義がある。※朝登校したらタブレットを引き出しにしまいうルーティン、個人持ち用タブレットペンの活用が見られた。

つかむ



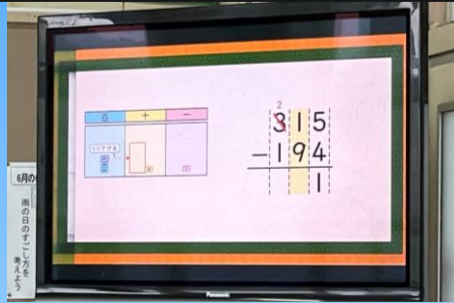
見通す



調べる・考える

A1: 教員による教材の提示

既習内容をデジタルドリルの動画資料で想起する

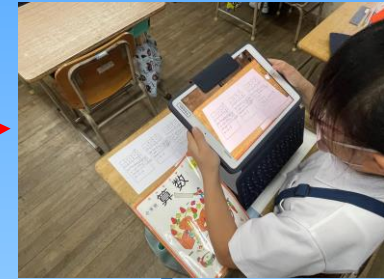


B1: 個に応じる学習

ワークシートに自分の考えを手書きしてまとめる→写真に撮る



先生のタブレット端末へ写真を送信する



◆つかむ→見通す→考える で活用

デジタルドリルに内蔵された映像を活用して既習内容を振り返る際に活用。

めあて設定、考える方法を見通した後、自分の考えをワークシートに手書きでまとめる。タブレット端末カメラで写真に撮り、教師用タブレット端末に送信する。今後は、個別学習で考えたことを教師用タブレット端末に集約する意図を明確にする必要がある。学習記録、評価との兼ね合いで検討

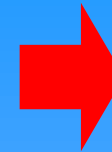
子どもたちの考えをロイロで集約する



深める



まとめる



(適用学習)

グループ内で個の考えを共有し、グループとしての考えをまとめる。→学級全体で共有して深める



本時の学習を振り返りながらまとめる

C2: 協働での意見整理

C1: 発表や話し合い

A2: 一斉学習でのまとめ



◆深める→まとめる→適用問題 で活用

まず、グループ内の一人一人の考えをタブレット端末を使って説明し合う。次にグループでまとめた考えを大型モニターに映し出して学級全体で発表し確認する。最後に本時で学習した2回繰り下がりのある問題をデジタルドリルを活用して解かせる。採点はデジタルドリルが行い、その達成状況は自動集計され記録・保存できる。

B1: 個に応じる学習

デジタルドリルで適用問題に取り組む



今年度の実践から

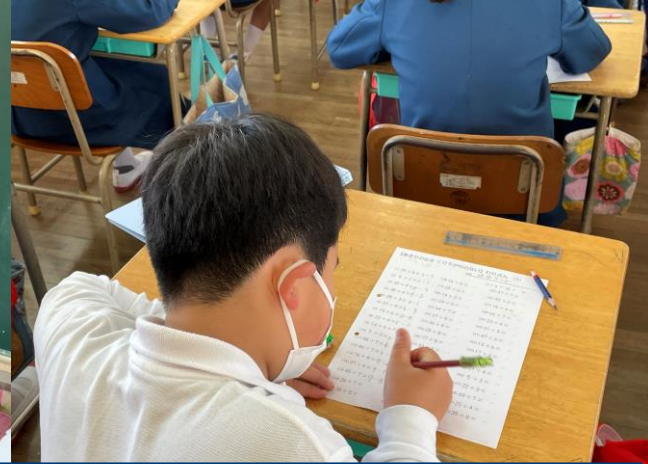
【補充指導編】

デジタルドリルの活用

- ◆朝学習「ベーシックタイム」(15分)
- ◆土曜授業「チャレンジタイム」(45分)

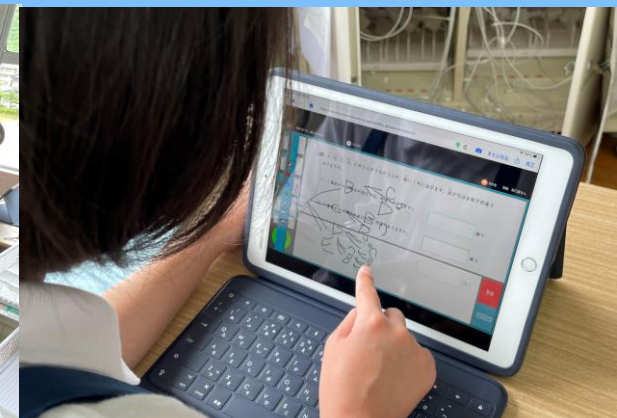
補充指導體制

指導体制面での工夫・改善(補充指導)



【改善】朝学習のベーシックタイム(火曜日、水曜日毎週 15分)

15分×35回×2曜日=1050分/年(漢字の読み書き・計算問題等の定着)



【新設】土曜授業日のチャレンジタイム(毎月1回1校時 45分)

45分×10回=450分/年(漢字の読み書き・計算問題等の定着確認や習熟を図る)

土曜授業の学力補充指導での複数体制(担任、指導方法改善、理専、音専、教頭)による指導

**朝学習での
補充指導
(ベーシックタイム)**

【学力補充指導】毎週火・木の朝は「ベーシックタイム」に取り組んでいます 2022年04月19日



4月19日(火)朝8:25~8:40(15分間)は「ベーシックタイム」に取り組んでいます。この「**ベーシックタイム**」は学習の基礎・基本である漢字の読み書きや計算力などを子どもたちにしっかりと定着するための取組で毎週火、木の朝15分間すべての学級で行っています。

また、毎月第2土曜日は「**チャレンジタイム**」という45分間の時間を使って問題練習に取り組んでいます。学級によっては複数の教員が入ってきめ細やかな指導をして関わられるようにしています。この取組も全学級で行っています。

学校は、授業改善はもちろんのこと、これらの補充指導や家庭学習と関連付けながらチーム星峯西小として取り組んでいます。

【学力向上】6月2日(木)の朝学習「ベーシックタイム」の様子を参観

2022年06月02日



【補充指導でのプリント課題とデジタルドリルの活用方法について】

○基礎基本の定着を図る際には、アナログの漢字帳や計算ドリルのプリントを活用した方が効果的

○学力が定着しているかの確認・見届けやさらなる習熟を図る際にはデジタルドリルを活用することが望ましい。

○指導者が補充指導の目的が何か？を明確にして活用できるようになることが重要
よって、朝学習ベーシックタイム(15分)でも土曜授業のチャレンジタイム(45分)でも補充指導の目的が定着の確認や習熟を図ることであればどちらでもデジタルドリルは使用可能ということになります。

**土曜授業での
補充指導
(チャレンジタイム)**

【土曜授業】1時間目に2～6年生の全学級で チャレンジタイムを行いました。

2022年04月09日

第8回学力向上委員会 令和4年度版(最新版) 令和4年2月8日

趣旨: 進路指導等定着度調査、全国学力・学習状況調査に向けた真体策

(1) いつ

- ◆ 正課授業・・・国語(週5時間)担任指導
社会(週2～3時間)担任指導
算数(週5時間)担任指導 ※少人数指導(学年単位等)
理科(週2時間)専科指導
- ◆ 朝の学習

曜日	月	火	水	木	金	土
8:25～8:30	静	静	静	静	静	静
8:30～8:45 (15)	①全朝 ②学習 (15)	①全朝 ②学習 (20)	①全朝 ②学習 (20)	①全朝 ②学習 (20)	①全朝 ②学習 (20)	①全朝 ②学習 (20)

【必習】

曜日	月	火	水	木	金	土
8:25～8:40 (15)	①全朝 ②学習 (15)	①全朝 ②学習 (15)	①全朝 ②学習 (15)	①全朝 ②学習 (15)	①全朝 ②学習 (15)	①全朝 ②学習 (15)

※～前設+水・木曜日のベーシックタイム+後設+土曜日のチャレンジタイム+各学年に合わせた指導

◆ 学力補充指導の時間

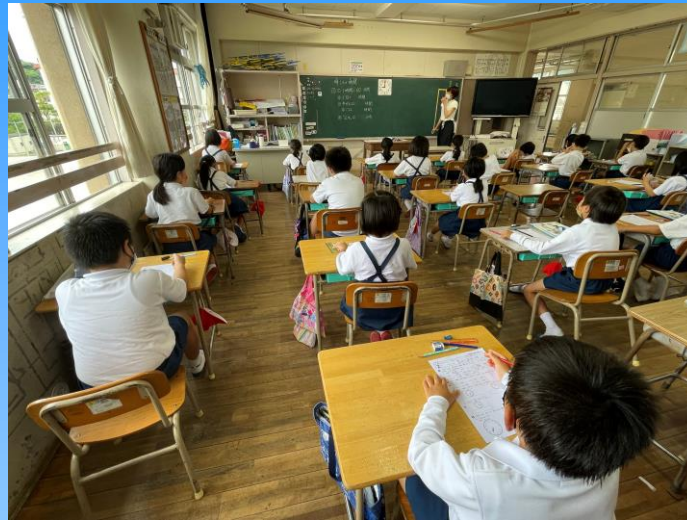


4月9日(土)は令和4年度最初の土曜授業日でした。今年度から土曜授業日の1時間目は、子どもたちに「確かな学力」を保障する取組として「チャレンジタイム」という学力補充指導の時間を新設して全校体制できめ細やかな学習指導ができるようにしました。15分間の「ベーシックタイム」を週2回、土曜授業に「チャレンジタイム」を新設して学力補充の時間と回数を増やしています。



【補充指導】土曜授業日のチャレンジタイムの取組 2年生（課題プリントによる補充指導＋TT指導）

2022年05月14日



5月14日（土）の1校時に2年では今年度2回目のチャレンジタイムが行われました。漢字の読み書きの定着や算数では間違えやすい単元（時間と時刻）の問題練習に課題プリントを使って取り組ませました。

【補充指導】土曜授業日のチャレンジタイムの取組 3年生(デジタルドリル設定と使い方のオリエンテーション)

2022年05月14日



5月13日(金)2校時に3年2組では今年度から新しく導入したデジタルドリル:教材名「タブレットドリル」の設定作業をしていました。子どもの学習状況や進捗状況を容易に把握でき、補充的・発展的な学習を行う場面で、個別の学習支援を行いやすくてできる教材です。また、子ども自身がスムーズに解けた得意な問題やつまづきのあった苦手な問題を把握し、学習の改善につなげる活用も期待できます。

【補充指導】土曜授業日のチャレンジタイムの取組 4年生(デジタルドリル設定と使い方のオリエンテーション)

2022年05月14日



5月14日(土)1校時に4年では今年度から新しく導入したデジタルドリル:教材名「タブレットドリル」の設定作業をしていました。子どもの学習状況や進捗状況を容易に把握でき、補充的・発展的な学習を行う場面で、個別の学習支援を行いやすくてできる教材です。また、子ども自身がスムーズに解けた得意な問題やつまずきのあった苦手な問題を把握し、学習の改善につなげる活用も期待できます。

【補充指導】土曜授業日のチャレンジタイムの取組

4年生(算数科少人数指導) 2022年05月14日



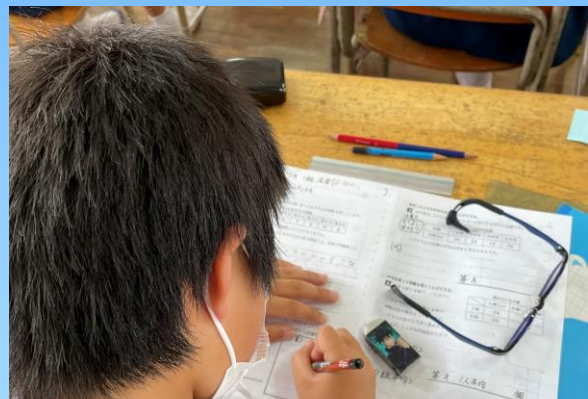
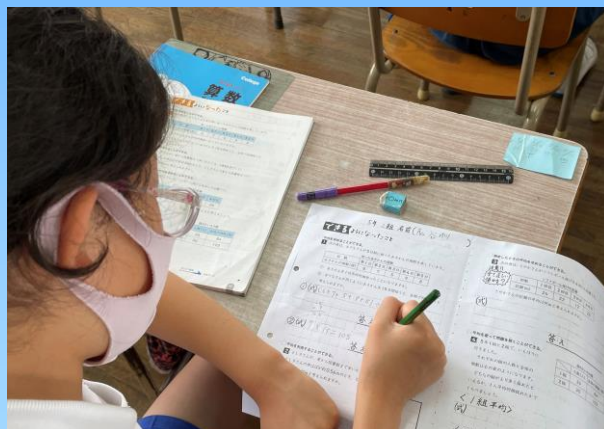
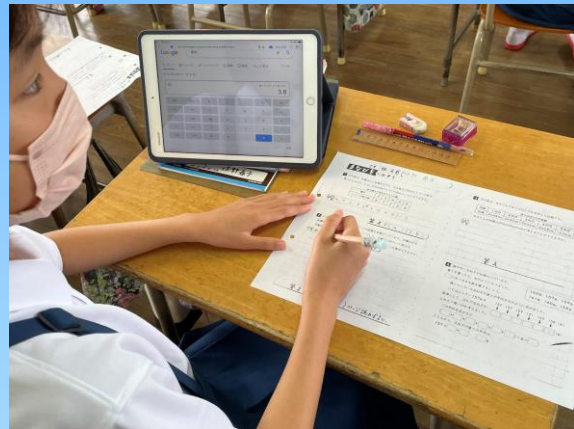
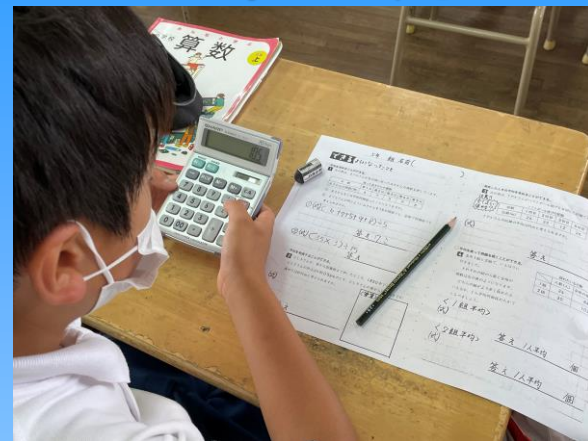
5月14日(土)1校時に4年1組では、算数科の少人数指導が行われました。少人数による指導により、きめ細やかな指導を行うことができます。

今後は、この少人数指導に今年度から新しく導入したデジタルドリル:教材名「タブレットドリル」を組み合わせた更にきめ細やかな学習指導が行えるようにしていこうと考えています。子どもの学習状況や進捗状況を容易に把握でき、補充的・発展的な学習を行う場面で、個別の学習支援を行いやすくてできる教材です。また、子ども自身がスムーズに解けた得意な問題やつまずきのあった苦手な問題を把握し、学習の改善につなげる活用も期待できます。

※少人数指導＋デジタルドリルの可能性を検討

【補充指導】土曜授業日のチャレンジタイムの取組 5年生(課題プリント+タブレット端末活用)

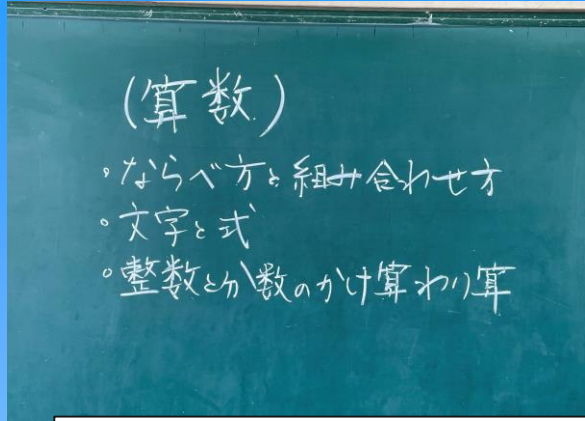
2022年05月14日



5月14日(土)の1校時に5年生では従来の課題プリント(定着の思わしくなかった単元)を使って補充指導を行いました。タブレット端末に内蔵された計算機能を活用して日常的に使用しています。

【補充指導】土曜授業日のチャレンジタイムの取組

6の2(デジタルドリル活用+TT指導) 2022年05月14日



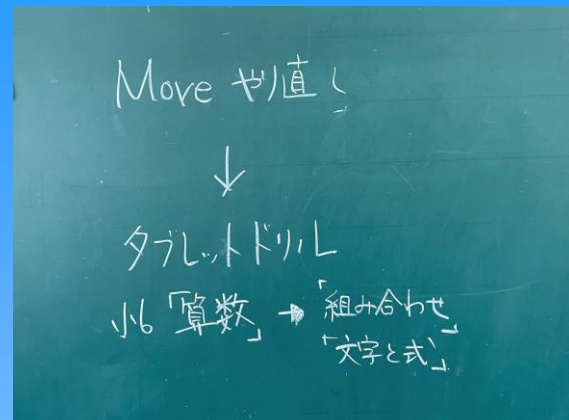
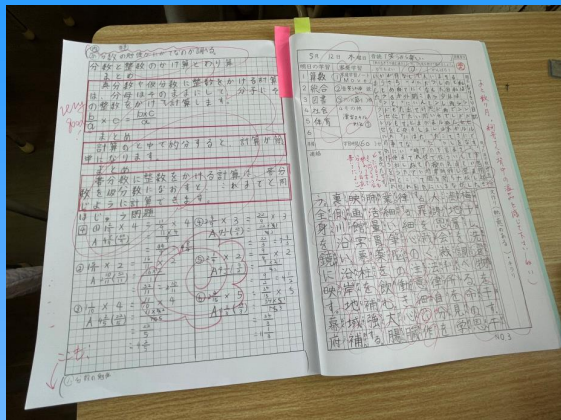
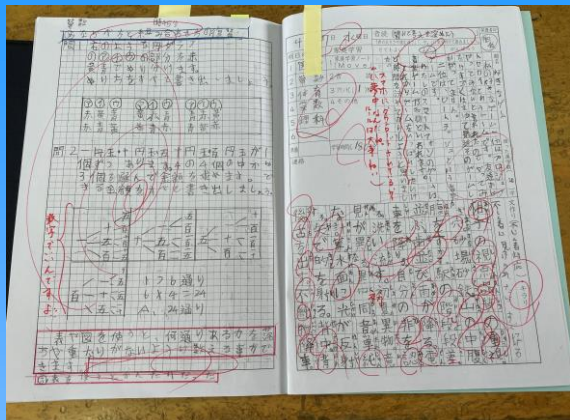
【デジタルドリル】定着の確認・習熟→1単元3段階(10分×3段階)の使い方



5月14日(土)の1校時に6年2組では、算数科でタブレットドリルで取り組む単元を子どもたち自身に選択させてデジタルドリルに取り組むパターンが行われていました。自分の苦手なところにチャレンジできる取組です。2人の教師がTTで個別指導にも取り組んでいます。

【補充指導】土曜授業日のチャレンジタイムの取組

6の3(家庭学習ノート→デジタルドリル) 2022年05月14日



【家庭学習ノート】基礎基本の定着・習慣化→【デジタルドリル】定着の確認・習熟



5月14日(土)の1校時に6年3組では、家庭学習ノートを返却した後にデジタルドリルを活用した補充指導を行いました。教師による家庭学習ノートへのきめ細やかな添削指導・やり直しを行った上でデジタルドリルに進む流れ・パターンが確立されています。

今年度の実践から

【家庭学習編】

**家庭学習ノート及び
デジタルドリルの活用**

【家庭学習】R4年度版の新しい「家庭学習ノート」が出来上がりました

2022年04月22日



前年度の学力向上委員会で3月末まで議論して全教員の意見を反映させて完成させたものです。ノートサイズは全てA4版に統一。様式は系統性を考慮して文字数、枠組等を調整。特に4年生用にはローマ字の罫線を入れて毎日アルファベットを書けるようにしています。

全ての学年・学級、全ての児童が使用する家庭学習ノートです。漢字、日記、宅習の3点セットをこの1冊に集約してあります。この家庭学習ノートを活用して共通課題として基礎基本の定着を図りながら、今後はデジタルドリルと組み合わせた自主課題にも取り組ませようと考えています。

各学年の子どもたちの家庭学習ノート模範的な例

6年生の家庭学習

協奏曲 郵便局 郵送 郵便物 郵便番号
 業員 従順 従来 の 方式 演奏 合奏 独奏
 秘境 を 訪ねる 秘策 秘指 示 に 従う 従
 尊敬 自尊心 分担任 担任 担当 負担 秘密
 三権 分立 練習 の 効果 尊い 精神 尊重
 護 著 者 著 書 著 者 名 人 権 利 基 本 的 人 権
 体 験 貴 族 貴 金 属 貴 重 品 著 作 権 の 保
 国 宝 の 寺 院 宝 石 財 宝 宝 探 し 貴 重 な
 保 護 者 著 書 著 者 名 人 権 利 基 本 的 人 権

11月5日 金曜日 天候(初)

科目	準備	家庭学習
1 算数	はし	①MxOv②
2 国語	国語	③プリント④
3 社会	⑤モx⑥⑦	⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲
4 体育		
5 音楽		
6 家庭科		

作文
 僕は、とある水泳選手にあこがれている。

（かこられる）
 僕は、とある水泳選手にあこがれている。

（かこられる）
 僕は、とある水泳選手にあこがれている。

（かこられる）
 僕は、とある水泳選手にあこがれている。

算数
 ① 分数の約分
 ② 分数の加法
 ③ 分数の減法
 ④ 分数の乗法
 ⑤ 分数の除法

問題1
 1. 1/2 + 1/3 = 5/6
 2. 1/2 - 1/3 = 1/6
 3. 1/2 × 1/3 = 1/6
 4. 1/2 ÷ 1/3 = 3/2

問題2
 1. 1/2 + 1/3 = 5/6
 2. 1/2 - 1/3 = 1/6
 3. 1/2 × 1/3 = 1/6
 4. 1/2 ÷ 1/3 = 3/2

国語
 ① 漢字の読みかき
 ② 漢字の書きかき
 ③ 漢字の意味
 ④ 漢字の類義語
 ⑤ 漢字の対義語

問題1
 1. 漢字の読みかき
 2. 漢字の書きかき
 3. 漢字の意味
 4. 漢字の類義語
 5. 漢字の対義語

問題2
 1. 漢字の読みかき
 2. 漢字の書きかき
 3. 漢字の意味
 4. 漢字の類義語
 5. 漢字の対義語

① 1/2 + 1/3 = 5/6
 ② 1/2 - 1/3 = 1/6
 ③ 1/2 × 1/3 = 1/6
 ④ 1/2 ÷ 1/3 = 3/2

国語
 ① 漢字の読みかき
 ② 漢字の書きかき
 ③ 漢字の意味
 ④ 漢字の類義語
 ⑤ 漢字の対義語

問題1
 1. 漢字の読みかき
 2. 漢字の書きかき
 3. 漢字の意味
 4. 漢字の類義語
 5. 漢字の対義語

問題2
 1. 漢字の読みかき
 2. 漢字の書きかき
 3. 漢字の意味
 4. 漢字の類義語
 5. 漢字の対義語

算数
 ① 分数の約分
 ② 分数の加法
 ③ 分数の減法
 ④ 分数の乗法
 ⑤ 分数の除法

問題1
 1. 1/2 + 1/3 = 5/6
 2. 1/2 - 1/3 = 1/6
 3. 1/2 × 1/3 = 1/6
 4. 1/2 ÷ 1/3 = 3/2

問題2
 1. 1/2 + 1/3 = 5/6
 2. 1/2 - 1/3 = 1/6
 3. 1/2 × 1/3 = 1/6
 4. 1/2 ÷ 1/3 = 3/2

家庭学習（自校オリジナルの家庭学習ノート）の活用

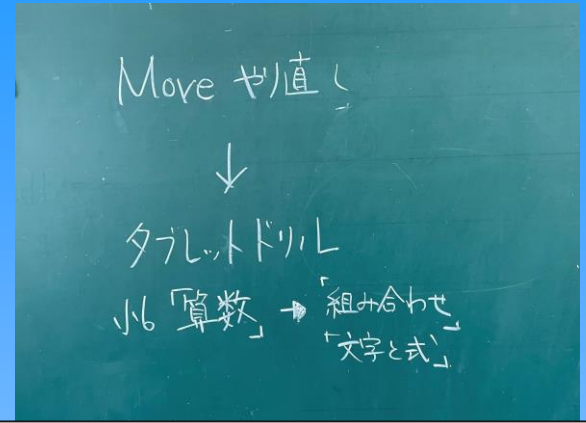
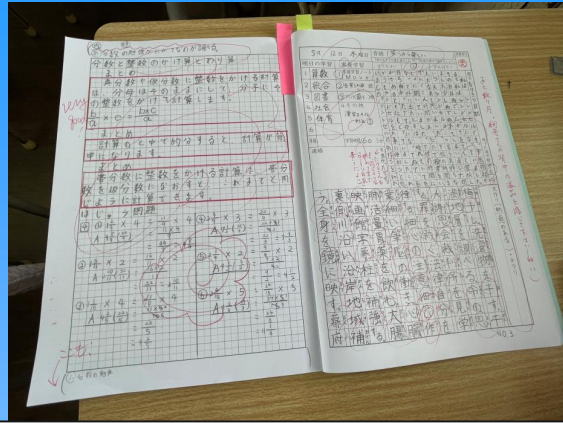
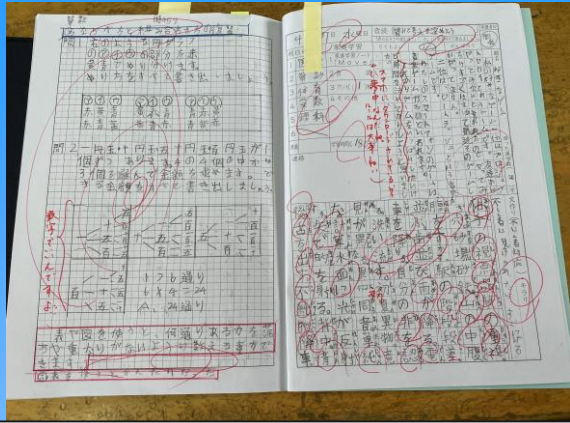


家庭学習における家庭学習ノートとデジタルドリルとの併用の可能性も探りながら実践・検証中です。



【補充指導】土曜授業日のチャレンジタイムの取組

6の3(家庭学習ノート→デジタルドリル) 2022年05月14日



【家庭学習ノート】基礎基本の定着・習慣化→【デジタルドリル】定着の確認・習熟



5月14日(土)の1校時に6年3組では、家庭学習ノートを返却した後にデジタルドリルを活用した補充指導を行いました。教師による家庭学習ノートへのきめ細やかな添削指導・やり直しを行った上でデジタルドリルに進む流れ・パターンが確立されています。

終